



Earth Rise

No.19

平成 26 年 11 月 10 日(月) 発行

矢掛高校の活動や地域の様子・E S D
等について発信していきます。

岡山県立矢掛高等学校長 川上公一



ユネスコスクール世界大会エクスカージョン in Yakage

11月8日、ユネスコスクール世界大会に参加した世界の高校生35名がエクスカージョン(研修旅行)として、矢掛町を訪問されました。次のようなテーマです。

From the Past to the Future, YAKAGE-cho is a Town Filled with the Unending Genealogy, History, and Culture
「過去から未来へ 悠久の系譜 歴史と文化が薫るまち 矢掛町」

矢掛町の歴史は古く、江戸時代には旧山陽道の宿場町として、文化・産業などの要衝として殷賑を極め、健全な状態で旧姿を留めている本陣・脇本陣は、全国でも唯一矢掛町のみで、国の重要文化財に指定されています。こうした歴史的資産が今なお現存し、深い歴史と多様な文化を湛えた町を小学生・中学生による案内で散策しながら、未来へ伝承するための取組を学びます。



バスで到着です。小学生と中学生が一生懸命説明します。

本陣前で、記念撮影です。特別に大名行列の奴も出演。毛槍を投げる体験もしました。この後、町内の菓子店で和菓子作りの見学・体験をしました。

江戸時代から続く醤油蔵の見学です。伝統的な産業を継続している町は、持続発展可能な町です。町そのものがE S Dなのです。

「スタンプでハンカチをつくろう」プロジェクトに参加しています。中学生の指導で楽しくオリジナルハンカチを作りました。



我々の目指すE S Dは、高校生だけで完結するのではなく、その活動が中学生・小学生と次の世代に引き継がれていくものだと考えています。今回の説明でも小学生が街並みについて説明し、それを受けて中学生がE S Dの視点からとらえ直すという形態でした。こどもたちが自分たちで考え、企画した活動を積極的に行っています。高齢化が進む町なみで若者は貴重な戦力です。異年齢の集団を組織することで持続発展可能な教育を実現させるとともに、活動を通して地域に貢献する意識をもった人材を育成したいと考えています。E S Dについては、矢掛町役場にも大変理解していただいております、今回もすべて役場のみなさんに支えていただきました。